

(作成年月日) 2022年4月1日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改訂。文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] AIを用いた乳癌の免疫療法の効果予測因子の探索と腫瘍微小環境の解明

[研究の目的] 乳癌の治療のひとつとしての免疫療法に対する病理学的な効果予測因子を発見することで、患者さんごとに免疫療法の治療効果を事前に予測し、より効果的な治療法を選択する可能性を示すことができるようにするため。

[研究の方法]

対象となる患者さん

乳癌の患者さんで、2010年1月1日から2020年12月1日の間に、当施設で乳癌切除術を受けた方

利用する検体・診療情報

検体は、手術の際摘出した乳癌組織を利用します。摘出した組織はホルマリン固定パラフィンブロックの状態にした病理検体を利用します。この病理検体で様々な染色を行うとともに、組織型、組織学的悪性度、血管やリンパ管への浸潤の有無を評価します。

診療情報は診療録より収集します。診療録から診断名、年齢、性別、術前治療(化学療法や放射線療法)の有無、生存およびがんの再発の有無、最終診察日を収集します。

[試料・情報の管理責任者]

香川大学医学部 病理病態生体防御医学講座 炎症病理学 助教 宮井由美

[研究組織]

香川大学医学部 病理病態生体防御医学講座 炎症病理学 助教 宮井由美

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

住所：香川県木田郡三木町池戸 1750-1

施設名：香川大学医学部炎症病理学

担当者：宮井由美

電話：087-891-2115 FAX：087-891-2116